



左からEDF(イー・ディー・エフ)味のないタイプ、とろっと快朝イサゴール<sup>®</sup>ピーチ味、特定保健用食品ゼリージュース イサゴール<sup>®</sup>アセロラ味

#### 図1 「イサゴール<sup>®</sup>」の効果 便性改善について

2週間、「ゼリージュース イサゴール<sup>®</sup>」を1日2回(朝・夕)各1スティック摂取したときの便性への働き



出典:「関西医科大学附属済生会病院教授・外科部長・医学博士の高田秀徳氏調査」

「イサゴール<sup>®</sup>」シリーズは、スティック状の食物繊維加工食品。水に溶かすとゼリーのように固まり、アセロラ味(「ゼリージュース イサゴール<sup>®</sup>」)で飲みやすい。同製品はインドで栽培されるオオバコ科の植物・サイリウムの種皮が主原料で、その特徴は大きく分けて2つある。1つは、「おなかの調子を整える」こと。もう1つは、「摂取したコレステロールの吸収を抑える」ことだ。「ゼリージュース イサゴール<sup>®</sup>」では、これら2つの大きな特質が認められています」と、久保田祐司代表取締役社長は説明する。

「イサゴール<sup>®</sup>」の体内での働きは独特のものだ。粘り気があり、吸水性が高い特質から、水分を吸収し大きくなり膨らみ、とりすぎたコレステロールの吸収を抑え、腸内のぜん運動を高め、消化や排泄を促す。また、便をまとめる性質があり、力まず「するっと出せる」ようになる。主成分が食物繊維なので、1本で4gの食物繊維を摂取できる。現代人に不足している8gの食物繊維を2本で補える効果もある。

手軽に摂取できる「イサゴール<sup>®</sup>」へのニーズは、排泄で悩む高齢者を多く抱える医療・介護現場でも高まっていた。それを受け同社では今春、介護用に特化した商品として「とろっと快朝イサゴール<sup>®</sup>」を発売した。同製品はピーチ味で飲

フィブロ製薬株式会社(東京都足立区)が製造・販売する特定保健用食品「イサゴール<sup>®</sup>」シリーズが、介護の現場で活用されている。オオバコ科の植物・サイリウムの種皮を原料とする同製品は、豊富な食物繊維を含んでいることから、利用者のおなかの調子を整える「排便コントロール」が可能。また、褥瘡や胃ろうのある利用者にも効果が期待されると好評で、業界でのシェア拡大が見込まれている。

文:山辺健史 撮影:関口宏紀

# 食物繊維加工食品「イサゴール<sup>®</sup>」

フィブロ製薬株式会社



【法人概要】フィブロ製薬株式会社  
東京都足立区谷在家3-10-6  
☎03-3855-7011 http://www.fibro.co.jp



←「介護現場で『イサゴール<sup>®</sup>』を役立てほしい」と語る久保田祐司代表取締役社長



→↓本社に併設する第1工場では、原料の混合から造粒、乾燥まで一貫して行う流動層造粒機(写真右下)、スティック包装する自動補填機など高性能なマシンを完備し、「イサゴール<sup>®</sup>」を大量生産している

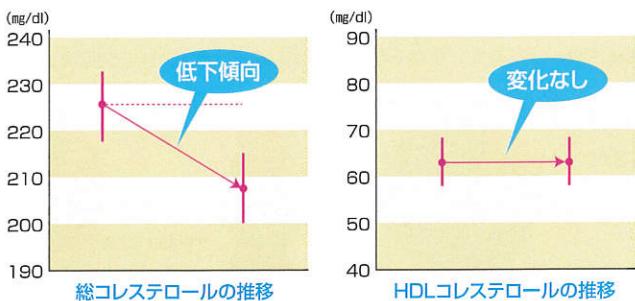


藤岡桂子メディカルサポートチーフ



図2 「イサゴール<sup>®</sup>」の効果 血清コレステロール

6週間、「ゼリージュース イサゴール<sup>®</sup>」を1日2回(朝・夕)各1スティック摂取したときの血清コレステロール値の推移



出典:「診療と新薬」(第36巻・第5号)別刷

みやすく、従来製品に比べて固まることから利用者に好評だ。

「イサゴール<sup>®</sup>」が介護現場で活用されているのは、利用者の下痢と便秘の両方に効くという便利さにある。「下痢では水分を吸い取り便をまとめ、逆に便秘だと腸の働きを高め便を出やすくなります。多くの介護現場からQOLが上がったという声をいただいています」と、藤岡桂子メディカルサポートチーフは自信をみせる。

また、痔を患う利用者への効能も期待される。「便がするつと出るので、痔のときの疼痛の緩和に大いに役立ちます。首都圏の約100の大腸肛門科で取り引き実績があります。消化器内科のドクターのご協力もあり、DDW(消化器病学会)でのデータ発表等、効果の実績があります」と、久保田社長は胸を張る。最近では、胃ろうの利用者にも「イサゴール<sup>®</sup>」が活用されている。「胃ろうで使う経腸栄養剤は浸透圧が高く、下痢になりやすい。栄養剤の使用前後に「イサゴール<sup>®</sup>」を胃ろうより注入し1週間ほどすると、下痢は緩和したという声もあります」と、藤岡チーフは微笑む。

## 医療機関と協力 確かな臨床データで効果立証

もともと商社マンだった久保田社長がインドでアーユルヴェーダ(インド伝統医学)に由来するサイリウムに出会い、1996年に製品化に成功したのが、そもそももの始まり。久保田社長は、東京慈恵会医科大学附属病院での臨床試験を得て、「イサゴール<sup>®</sup>」の有用性を科学的に立証してきた。現在では、通信販売や、同社が提携する全国約1000軒の健康相談薬局などで「イサゴール<sup>®</sup>」の購入が可能だ。

久保田社長は今後の抱負として、介護現場でのより一層の普及促進や、さまざまな学会へのPRも視野に入れている。さらに、海外市場への展開も見据える。「現在イングリッシュの半数はアメリカへ輸出され、循環器系の粉薬として販売されていますが、「イサゴール<sup>®</sup>」のようないい飲みやすい製品はありません。私は含め当社の社員は、毎日「イサゴール<sup>®</sup>」を飲み、その効果を肌で感じています。この効果をもっともつと広めていきたいですね」と、同製品への思いを熱く語る。